

米代川水系河川整備計画(変更素案) に対する意見徴収結果について

令和5年12月4日

国土交通省 東北地方整備局

◆今後の策定スケジュール

第12回 米代川水系河川整備学識者懇談会

令和5年10月3日

河川整備計画【変更素案】

意見

■パブリックコメント（10月13日から11月12日実施）

○変更素案の閲覧方法

- ・ホームページへ掲載し閲覧
- ・国や県、市町村の窓口へ設置し閲覧

○住民からの意見募集

- ・地域のイベント来場者からの募集
- ・意見箱による募集
- ・インターネットによる募集
- ・FAX・メールによる募集

○公聴会(意見を聴く会)の開催

- 10月31日 能代市 (能代市中央公民館)
- 11月 1日 大館市 (大館市中央公民館)
- 11月 2日 北秋田市 (北秋田市交流センター)

河川整備計画【変更原案】

意見

令和5年12月4日

第13回 米代川水系河川整備学識者懇談会

関係機関意見

米代川水系河川整備計画の変更

【素案閲覧・意見箱設置】



▲能代市役所設置状況



▲北秋田市役所設置状況



▲大館市役所設置状況



▲能代河川国道事務所設置状況



▲みちの駅鷹巣 リーフレット設置状況

【変更素案の閲覧場所】

閲覧会場	
国土交通省	能代河川国道事務所
国土交通省	二ツ井出張所
国土交通省	鷹巣出張所
国土交通省	森吉山ダム管理支所
国土交通省	大館国道出張所
秋田県	建設部 河川砂防課
秋田県	鹿角地域振興局
秋田県	北秋田地域振興局
秋田県	山本地域振興局
能代市役所（本庁舎）	
二ツ井町庁舎	
北秋田市役所（本庁舎）	
森吉庁舎	
大館市役所（本庁舎）	
比内総合庁舎	
田代総合庁舎	
鹿角市役所	
小坂町役場	
藤里町役場	
上小阿仁村村役場	

国：5箇所、県：4箇所、市町村：11箇所 計：20箇所

【ウェブサイトへの掲載】

緊急情報ははこちら

2023/11/02 07:00【防災情報】米代川河川国道事務所 大雨に伴う防災情報（第2報）（終報）（PDF:45KB）
 2023/11/01 21:00【防災情報】米代川河川国道事務所 大雨に伴う防災情報（第1報）（PDF:49KB）
 2023/10/21 10:00【防災情報】米代川河川国道事務所 大雨に伴う防災情報（第2報）（終報）（PDF:44KB）
 2023/10/19 18:00【防災情報】米代川河川国道事務所 秋田自動車道 通行止め予定について（第1報）（PDF:437KB）
 2023/10/19 14:45【防災情報】米代川河川国道事務所 大雨に伴う防災情報（第1報）（PDF:50KB）

米代川の水位情報
 米代川の水位情報

米代川水系のこれからの川づくりについてご意見をお聞かせください～米代川水系河川整備計画変更（国管理区間）パブリックコメントを開始～

10月11日 米代川水系のこれからの川づくりについてご意見をお聞かせください～米代川水系河川整備計画変更（国管理区間）パブリックコメントを開始～

米代川水系のこれからの川づくりについてご意見をお聞かせください

意見募集期間
 令和5年10月13日～令和5年11月12日

米代川水系河川整備計画は平成17年3月に策定し、その後に発生した平成19年洪水を踏まえて平成22年3月に整備内容の変更を行っております。しかし、近年の気候変動により降雨が増大することが見込まれることから、河川整備目標の見直しを行い、米代川水系河川整備計画（国管理区間）の変更を行います。

地域と一体となったハード・ソフト対策を進めるため、みなさまのご意見をお伺いします。

[米代川水系河川整備計画（概要リーフレット）（pdf1.3MB）](#)

[米代川水系河川整備計画（変更素案）（pdf24.6MB）](#)

[>>>アンケートフォームはこちら<<<](#)

▲米代川河川国道事務所HP

▲パブリックコメント特設ページの開設

パブリックコメントの実施結果

米代川水系

【公聴会のお知らせ配布状況】

	合計	市町村					
		能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	藤里町	秋田市
利水関係者(かんがい・上水)(発電・営農)	28	14	5	7	2	—	—
水防関係(消防本部・水防団)	7	3	2	2	—	—	—
測量・建設業関係(コンサル協会・建設業協会)	4	1	1	—	1	—	1
漁業協同組合	7	1	2	3	—	1	—
河川協力団体	3	1	1	1	—	—	—
河川愛護団体	6	2	1	3	—	—	—
沿川自治会	174	91	26	57	—	—	—
合計	229	113	38	73	3	1	1

【公聴会の開催】

市町村	開催日時	開催場所	参加者数 (人)	発言者数 (人)	意見等総数 (件)	意見等総数		
						意見(件)	参考(件)	その他(件)
能代市	10月31日(月)	能代市中央公民館	24	5	7	2	4	1
大館市	11月1日(水)	大館市中央公民館	11	2	4	0	0	4
北秋田市	11月2日(木)	北秋田市交流センター	20	8	13	4	5	4
		合計	55	15	24	6	9	9

【イベントでの意見募集】

祭事	開催日時	開催場所	意見等総数 (件)	意見等総数		
				意見(件)	参考(件)	その他(件)
のしろ産業フェア2023	10月21日(土)、10月22日(日)	能代市総合体育館	10	4	0	6
第16回北秋田市産業祭	10月21日(土)、10月22日(日)	鷹巣体育館	1	1	0	0
第25回大館圏域産業祭	10月21日(土)、10月22日(日)	ニプロハチ公ドーム	0	0	0	0
		合計	11	5	0	6

【公聴会の開催状況】



能代市(能代市中央公民館)



北秋田市(北秋田市交流センター)

【イベントでの意見募集状況】



第16回北秋田市産業祭(鷹巣体育館)

【意見】:整備計画に関する意見(維持管理等も含む)
 【参考】:整備計画に関する質問
 【その他】:その他意見

【意見等のとりまとめ手順】

意見聴取

意見箱の投函



公聴会



HP、メール等



米代川水系河川整備計画は平成17年3月に策定し、その後発生した平成19年洪水を踏まえて平成22年3月に整備内容の変更を行っております。しかし、近年の気候変動により降雨が増大することが見込まれることから、河川整備目標の見直しを行い、米代川水系河川整備計画（国管理区間）の変更を行います。
地域と一体となったハード・ソフト対策を進めるため、みなさまのご意見をお伺いします。

[米代川水系河川整備計画（概要リーフレット）](#) (pdf1.3MB)

[米代川水系河川整備計画（変更素案）](#) (pdf24.6MB)

[>>>アンケートフォームはこちら<<<<](#)

意見整理

意見整理

意見を分類分け・細分化し、整理します。

No	分類	意見内容	分類化
16	治水	流し治水	ポンプ排水だけでなく、自然排水を行うことも重要であるため、合わせ整備計画変更(素案)本文のP59の下部注釈に自然排水についての記
17	治水	流域治水	整備計画変更(素案)のP108に内水対策の実施とある。ここに、「関係機場場の一元化」などの記載を検討してほしい。
18	治水	流域治水	吉田川はかなり内水氾濫に悩まされている地域である。農水省や国交
19	維持管理	樹木管理	河川の中心部が繁茂しているが、大雨の際は水が流れること
20	維持管理	堤防除草	遊水堤防

意見の内容毎に細分化

- 意見を治水・環境・維持管理・その他に分類
- 更に意見毎に細分化
- 細分化した意見を主な意見と参考意見に分類

整備計画(変更素案)に不足がある部分について、
計画へ追記・修正等の反映を行います。

意見の整理結果

米代川水系

- 今回、パブリックコメントでいただいた意見は48件
- それらのコメントを分類毎に整理した結果、米代川における河川整備の実施が約60%。流域内の河川整備に関する意見が約15%
- 維持管理については約8%であり、環境に関する意見は約4%

項目	意見分類	意見総数(件)			
		意見	参考	その他	
治水に関する意見	河川整備の実施に関する意見	29	12	6	11
	流域内の河川整備に関する意見	7	5	2	0
	流域治水に関する意見	3	0	1	2
環境に関する意見	環境に関する意見	1	1	0	0
	河川利用に関する意見	1	1	0	0
維持管理に関する意見	樹木管理に関する意見	1	1	0	0
	施設管理に関する意見	3	1	0	2
その他事項に関する意見	その他事項に関する意見	3	1	0	2
合計		48	22	9	17

【意見】：整備計画に関する意見(維持管理等も含む)

【参考】：整備計画に関する質問

【その他】：その他意見

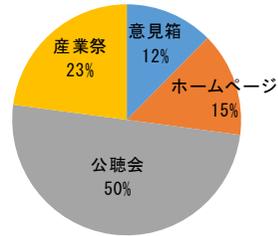
※参考、その他は、今後、河川整備・地域活性化等に関する参考とさせていただきます。

パブリックコメントの実施結果

米代川水系

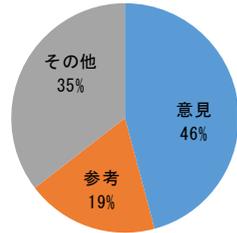
【意見集計結果】

方法	意見数(件)	割合
意見箱	6	12%
ホームページ	7	15%
公聴会	24	50%
産業祭	11	23%
合計	48	100%



【集計結果】

方法	件数	割合
意見	22	46%
参考	9	19%
その他	17	35%
合計	48	100%



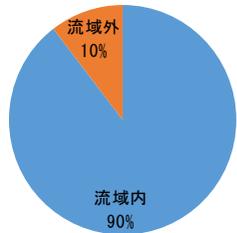
【意見】：整備計画に関する意見（維持管理等も含む）

【参考】：整備計画に関する質問

【その他】：その他意見

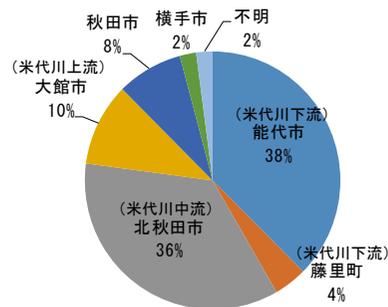
【流域内外の割合】

方法	意見数(件)	割合
流域内	43	90%
流域外	5	10%
合計	48	100%



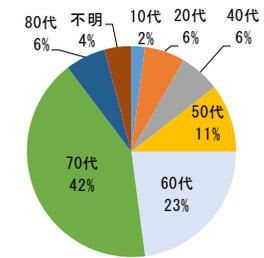
【市別割合】

方法	意見数(件)	割合
能代市(米代川下流)	18	38%
藤里町(米代川下流)	2	4%
北秋田市(米代川中流)	17	36%
大館市(米代川上流)	5	10%
秋田市	4	8%
横手市	1	2%
不明	1	2%
合計	48	100%



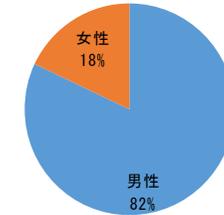
【年代】

年代	意見数(件)	割合
10代	1	2%
20代	3	6%
40代	3	6%
50代	5	11%
60代	11	23%
70代	20	42%
80代	3	6%
不明	2	4%
合計	48	100%



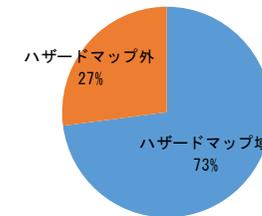
【男女比】

方法	意見数(件)	割合
男性	32	82%
女性	7	18%
合計	39	100%



【ハザードマップ内外の割合】

方法	意見数(件)	割合
ハザードマップ域	35	73%
ハザードマップ外	13	27%
合計	48	100%



【分析】

- ・意見形態は「公聴会（意見を聴く会）」が5割と最も多い。
- ・都市別の割合については能代市が最も多く、次いで北秋田市と「公聴会（意見を聴く会）」の出席者数と比例している。
- ・流域に住む方の意見が9割を占めており、傾向として河道掘削や貯留機能の向上、内水対策など「河川整備の促進」に関する意見が多く寄せられている。
一方で流域外の住民からは、気候変動対応への評価や流域治水への期待など俯瞰的な意見が多く見られた。
- ・ハザードマップ浸水域に位置する沿川住民からの意見が約7割であり、関心度の高さが見られた。ハザードマップ浸水区域内外での意見の違いはなかった。

パブリックコメントの実施結果(意見の整理)

米代川水系

【地域の方々からの意見一覧表(1/4)】

No	分類	意見分類	市町村	流域内外	上下流	ハザードマップ内外	意見	対応方針	種別	備考	本文対応頁
1	環境	河川利用	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	秋田県でも数少ない一級河川である米代川を利用した地域交流をもっと増やしてほしい。	河川利用の場など、引き続き河川空間の利用促進を図り、地域間交流などがしやすい環境を創出していきたいと考えています。	能代市産業祭	意見	P.4 P.104 P.106
2	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	今年の水害(7/16)ゆか上48cmでした。また水害にならないよう対策を一刻も早くお願いします。	米代川における河道掘削などの治水対策を推進するとともに、内水対策については、国・県・市を始めとする関係者により流域治水として被害軽減を図ります。	能代市産業祭	意見	P.87 P.90
3	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	七月の大雨で床上浸水の被害を受け大変難ぎもしたし、金銭面でも大変でした。米代川の改修、河口の砂の浚渫など今後洪水を防ぐ為よろしく願います。	米代川における河道掘削などの治水対策を推進するとともに、内水対策については、国・県・市を始めとする関係者により流域治水として被害軽減を図ります。	能代市産業祭	意見	P.87 P.90
4	その他	その他	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	桜づつみ公園が散歩コースです。いつも整備されていて気持ちよく歩いています。	河川空間については、引き続き維持管理に努め、利用促進を図っていきたいと考えています。	能代市産業祭	意見	P.104 P.106 P.124
5	維持管理	樹木管理	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ外	砂利採取やってもらいたい。建設業で道路などの盛土で利用する。樹木の配布を多くやってほしい。河川内の樹木を伐採片付けしてほしい。軽トラ1台ではマキとして一冬もたない。3台くらいはほしい。魚も住める自然な形、堤防、掘削のしかたに配慮してほしい。	砂利採取については、近年は令和元年度に再開し、以降毎年実施しています。河道内の樹木については、流下能力向上や管理上の支障となる樹木を対象に伐採しており、工事で発生したものや、一般の方による公募伐採等を継続して、一般提供にも努めます。また、河川の整備等においては、引き続き環境との両立を図り、継続してアユなどが棲める河川にします。	北秋田市産業祭	意見	P.46 P.122 P.123
6	環境	環境	横手市	流域外	流域外	ハザードマップ外	近年の激甚化する災害は日本全国どこでも起こり得る事象であり、それに備えるため既往の整備計画流量を増やすことは民生安定の観点から非常に重要な事であると思います。往々にして治水事業は災害が起きないと対策を実施しない後追い事業と言われておりますが、積極的な治水水対策は流域住民の安心・安全には不可欠なものと認識しており、計画の実現に向けて注力していただきたいと望んでいます。そのための具体策として河道掘削を計画していますが、米代川の自然環境は後世に残すべき素晴らしい環境であるため、生物の多様性に配慮し、尺鮎が棲みサクラマスが遡上する豊かな自然環境の維持・保全に務めていただきたいと思います。	米代川流域における住民の安心・安全のため、今後も治水事業を推進するとともに、工事における環境への配慮や多自然かわづくり等を進め、治水と環境との両立について注力して行きたいと考えています。	ホームページ	意見	P.87 P.97 P.98
7	治水	流域内の河川整備	秋田市	流域外	流域外	ハザードマップ域	私は雄物川流域に住んでいます。今年の豪雨では近くの太平川(県管理)からの越水や排水不良により家の前の道路が冠水しました。周辺では床上・床下浸水もありました。近年多発する想定以上の豪雨に対して、想定を見直さなければ、安全を確保できない状況にあると思います。今回の見直しは私の住む雄物川流域の隣の流域ではありますが、国管理河川の整備目標の見直しは、支川県河川の安全性の向上はもとより、県河川の整備目標の見直しにも起因するものと思います。整備計画の早期策定と整備促進を期待するとともに、秋田県全体への波及を期待します。	気候変動を踏まえ、河川整備事業推進と併せて様々な関係者による流域治水についても推進を図り、地域の安全・安心を守りたいと考えています。	ホームページ	意見	P.56 P.57 P.92 P.140

※種別「産業祭:イベントでの意見収集結果」、「公聴会:公聴会時に発言された意見」、「ホームページ:アンケートフォームの入力による意見」

※整備計画に関する意見(維持管理等も含む)

【地域の方々からの意見一覧表(2/4)】

No	分類	意見分類	市町村	流域内外	上下流	ハザードマップ内外	意見	対応方針	種別	備考	本文対応頁
8	治水	流域内の河川整備	秋田市	流域外	流域外	ハザードマップ外	<p>○近年の気候変動に対応した整備計画目標の見直しは不可欠であるが、かなりのロングスパンであるため、その間の最低限の対応として、河積阻害している樹木伐採を行い河川断面を確保することが大事。特に県管理や市町村管理支川での必要性が高いと思われる。</p> <p>○ニツ井地区の特殊堤区間についての整備目標や方針を示した方がよいと思う。</p> <p>○流域全体でみれば、本線、支川、ダム、排水機場・水閘門、消防や水防団、避難情報提供など、多数の管理者や指示・命令権者がいる。洪水予測、水閘門操作、避難指示・命令等、これらの一連についてAI等を活用した総合的なシステムの構築と必要機器の全体配備が必要ではないか。精度の高いスピーディな情報の同時共有化、ダム放流や水閘門操作のタイミングの判断、避難指示・命令等の情報提供の適切なタイミングの判断など有効的な活用が図られるとともに、内水被害の発生原因に関連した施設操作の責任を追及されることも無くなるのではないか。</p> <p>○米代川に限った話ではないが、河道掘削を行う箇所については、同時に樹木化防止対策をやらないと同じ事の繰り返しになってしまうと思う。</p>	<p>河道内樹木による流下阻害については、課題と考慮しており、従来の計画的伐採や公募伐採のほか、河道掘削後に草地化を図るなど、引き続き対策を講じていきたいと考えています。</p> <p>また、洪水予報や河川管理においてもシステムの高度化を検討するとともに、DXの活用など、効率的且つ効果的な運用を引き続き検討していきたいと考えています。</p>	ホームページ	意見	P.87 P.122 P.129
9	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ外	<p>近年、これまでの経験が通用しないような豪雨が頻発するようになり、今のままの米代川で良いのか？と心配をしておりました。</p> <p>そんな折りに、このほど河川整備の計画を変更するとHPで拝見し、喜んで拝見させていただきました以下、少しばかりの意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 気候変動を考慮した米代川河道整備目標について(P73～)</p> <p>以前の目標と比較し増量した目標を達成するため、「農地浸水の軽減を図りながら」河道掘削の他に「貯留・遊水機能の保全」との言葉が盛り込まれています。</p> <p>「遊水地か？」と思い拝見しましたが「土地利用や地域特性を踏まえた治水対策」との表現。</p> <p>平面図や横断面図にも現時点では盛り込まれていない整備内容なのでしょうか？</p> <p>・「貯留・遊水機能の保全」箇所については、P75及びP76の整備後の外水はん濫区域の着色地区と考えられますが、着色地区については近隣ですので、田畑であることを知っていますが、これらの地区は過去の洪水のたびに流木等の川ゴミの漂着や土砂の流入・堆積物の処理や水稲への悪影響に農家が大変な苦勞をしてきたところでもあります。</p> <p>安易に、田畑だからとの理由で、「下流域の安全のため」の「流域治水」実現のために「はん濫を許容する」地区とし、「貯留・遊水機能の保全」を確保します。と言われても農家は混乱すると思います。</p> <p>・そこで、外水はん濫区域において、「貯留・遊水機能の保全」の機能を図るための事業を行う際には、「貯留・遊水機能の保全」のための浸水想定エリアの農家等への十分なお配慮をお願いしたいと思います。</p> <p>2. 土地利用や地域特性を踏まえた治水対策(P86)について</p> <p>特に、意見はありませんが、図5-2や付図の施工箇所位置図の地区名と外面地区や蟹沢地区の表記が違いますので統一してはいかがでしょうか？</p> <p>3. 水防活動拠点の整備(P91)</p> <p>表5-3 防災関連施設設置予定箇所の扱いについて</p> <p>ニツ井地区の河川MIZBEステーションは能代地区？でよかったですでしょうか？</p>	<p>1. 流域治水の考えに基づき、遊水機能の保全を位置付ける一方で、生業である農業を守るため、一定の規模の洪水に対しては被害を軽減する対策を講じ、治水と生業との両立を図っていきたいと考えています。</p> <p>2. ご指摘の図については訂正させていただきます。</p> <p>3. MIZBEステーションはニツ井地区に設置されておりますが、広域的な活用を想定しているため、周辺地区においても対応していくこととしています。</p>	ホームページ	意見	P.86 附図P.1

※種別 「産業祭:イベントでの意見収集結果」、「公聴会:公聴会時に発言された意見」、「ホームページ:アンケートフォームの入力による意見」
 ※整備計画に関する意見(維持管理等も含む)

パブリックコメントの実施結果(意見の整理)

米代川水系

【地域の方々からの意見一覧表(3/4)】

No	分類	意見分類	市町村	流域内外	上下流	ハザードマップ内外	意見	対応方針	種別	備考	本文対応頁
10	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	<p>・気候変動を踏まえた整備計画は大変良いと思います。</p> <p>・「河道掘削」については、単一的な河川断面とならないよう十分に景観等に配慮して欲しい。</p> <p>・将来的に気候変動等で更なる流量増加も考えられ、本計画の「河道掘削」や「土地利用を踏まえた治水対策」だけでは不安がありますので、「遊水地」や「県ダムを含めた「再開発ダム」も考えたらどうでしょうか。特に「遊水地」については、河川の背後地が開発されると整備が難しくなると思うので、できれば本整備計画に「遊水地」を取り込んで欲しいです。</p>	<p>河道掘削においては、その場所毎に環境や再堆積に配慮した断面となるよう配慮してきたいと考えています。</p> <p>また、ダムの再開発については流域治水プロジェクトの一貫であり、様々な観点から可否を判断するものと考えております。</p> <p>また、遊水機能については、流域治水に関連する様々な施策を踏まえて保全を図りたいと考えています</p>	ホームページ	意見	P.84 P.87
11	治水	河川整備の実施	秋田市	流域外	流域外	ハザードマップ域	<p>世界日本各地で発生する洪水に対し、気候変動を考慮した変更は有意義と思います。</p> <p>今回の変更で、目標流量が1,100m³/s増加し、その対策を更なる河道掘削・土地利用を踏まえた治水対策などを行う計画とのことですが更なる河道掘削にも限界があると感じます。</p> <p>また、自然環境・地域環境への負荷が増大しないか不安です。そこで、洪水を一時的に貯留する施設なども必要ではないかと感じました。</p> <p>さらに、関係者が協働して、米代川の治水対策を行う流域対策は、地域の一体感を感じ期待しています。</p>	<p>気候変動に対しては、従来の河川整備では限界があることから、あらゆる関係者による流域治水を推進し、遊水機能の保全や雨水貯留の実施なども含め流域全体で治水対策を講じていきたいと考えています。</p>	ホームページ	意見	P.56 P.57 P.92 P.140
12	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	<p>毎年大雨が降るかもしれない中で、悪土川では対策が間に合わない可能性が大である。ポンプ排水の能力拡大など早めに対策できるものは行うなど、速やかな内水対策をお願いしたい。</p>	<p>内水対策については長期的な対策のほか、短期的に効果が出る対策を行う必要があると理解しています。</p> <p>悪土川の内水対策については、流域治水として国・県・市により検討会で検討します。</p>	能代市公聴会	意見	P.77 P.90
13	治水	流域内の河川整備	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	<p>毎年国交省等と合同巡視により様々な情報を教えていただきながら、日々の水防団活動にあたっている。</p> <p>悪土川や天内地区では内水対策として、消防団ポンプも使っていたが、消防ポンプでは排水量が小さいので大きなポンプにはかなわない。住民の皆さんの声を聞くと、今ついているもののポンプの増強をお考えを持ってもらいたい。</p> <p>流域治水として国・県・市で協力を進んでいくと聞いた。早めにこの計画を策定していただき、予算を付けていただきたい。国が進まない、県市の計画は進めづらいところもある。何か地域に対して言葉をかけてもらえないか。</p>	<p>内水対策については長期的な対策のほか、短期的に効果が出る対策を行う必要があると理解しています。</p> <p>悪土川の内水対策については、流域治水として国・県・市により検討会で検討します。</p>	能代市公聴会	意見	P.77 P.90
14	治水	流域内の河川整備	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	<p>大館ではインランドデポ構想がある。輸送は線路を使う。地域の産業秋田県の産業を守るため、堤防を強固に作ってもらうこと、若い人が住めるところにもなる。それを踏まえて堤防づくりをやってもらいたい。</p>	<p>重要な交通網など重要な施設や、地域の生業を守るということは、今回本文に記載しています。治水について流域全体で行う流域治水という考え方も踏まえて引き続き気候変動に備えて治水能力の強化を図ります。</p>	北秋田市公聴会	意見	P.86 P.92
15	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	<p>向黒沢大橋のところの川の中央部が盛り上がっている。両脇で川が流れている状況。パトロール隊でも見てもらいたい。</p>	<p>以前掘削を行った箇所ではありますが、施工がしづらい場所。中州の有り無し、大小は、解析を行いモニタリングを行っています。今後様子をみて対応を検討します。</p>	北秋田市公聴会	意見	P.122 P.123
16	維持管理 施設管理		北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	<p>堤防の上の舗装が穴だらけ。4月から通行止め。雨が降れば下に浸透するのに、なぜ補修をしないのか。7ヶ月そのような状態であるため、考えてもらいたい。</p>	<p>補修必要箇所については把握しており、優先度を踏まえて対応します。</p>	北秋田市公聴会	意見	P.116
17	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	<p>過去に伐採をやってもらった、ゴミもたまらず、流れも良くなった。木を切ったところは、これからまた雑木が大きくなるため、伸ばさずに処理するよう対応をお願いしたい。</p>	<p>伐採については継続して実施するとともに、再繁茂抑制策についても実施します。</p>	北秋田市公聴会	意見	P.122 P.123

※種別 「産業祭:イベントでの意見収集結果」、「公聴会:公聴会時に発言された意見」、「ホームページ:アンケートフォームの入力による意見」

※整備計画に関する意見(維持管理等も含む)

パブリックコメントの実施結果(意見の整理)

米代川水系

【地域の方々からの意見一覧表(4/4)】

No	分類	意見分類	市町村	流域内外	上下流	ハザードマップ内外	意見	対応方針	種別	備考	本文対応頁
18	治水	流域内の河川整備	大館市	流域内	上流域(大館市域)	ハザードマップ域	<p>「米代川水系河川整備計画」について意見を述べさせていただきます。米代川流域の大滝温泉の対岸に住んでおりますが、2022年8月に降水量が増大した時に、住宅地に越水した写真4枚を資料として添付しました。</p> <p>水位上昇が急にきたために、床上浸水した家の住人が消防隊員に救出されている場面や、道路が濁流になっている場面が、おわかり頂けると幸いです。被災する家屋は数件ですが、国の施策で改善できることを望んでおります。</p> <p>米代川は一級河川ですが国管理区間が、左岸は大館市比内町扇田まで、右岸は大館市山館までと限定されていることに疑問を感じまして、その直ぐ上流で水害が発生している状況について資料提供致しました。</p> <p>国管理区間を、右岸について大館市軽井沢まで拡張することが、一級河川の水害の減少に寄与する方策の一つと考えました。</p> <p>今回の整備計画が今後30年間を対象にしておりますので、この機会にお願いしないと、30年後まで水害に悩まされることとなりますので、ご検討を宜しくお願い致します。</p>	<p>状況について把握させていただきました。</p> <p>流域治水として、流域の関係者が協働して水害の軽減を図っていきたく考えています。</p>	意見箱	意見	P.56 P.57
19	治水	河川整備の実施	藤里町	流域内	下流域(藤里町)	ハザードマップ域	<p>引き続き災害対策の強化を要望します。</p> <p>昨今、自然災害の影響による水害が激甚化、頻発化しております。今年七月の大雨では、向能代水位観測所で避難判断水位の3.00mを超過する3.04mを記録し、住家にも被害が出ました。このことを踏まえ実害があった地点、災害時大規模被害が想定される地点は早急に対策する必要があると考えています。よろしく申し上げます。</p>	<p>ご意見について承りました。</p> <p>向能代等下流域については、優先的に河道掘削の実施を予定しています。</p>	意見箱	意見	P.73 P.74
20	治水	河川整備の実施	藤里町	流域内	下流域(藤里町)	ハザードマップ域	<p>大館市外川原地区の米代川は大雨になる高水敷を簡単に越えてしまうので、河道掘削をしていただけたらありがたいです。</p>	<p>ご意見について承りました。</p> <p>計画上、当該地区における河道掘削を予定しています。</p>	意見箱	意見	P.87
21	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ外	<p>河道内の土砂を掘削し、川の断面積を大きくするという計画はとても有効的だと思う。</p>	<p>ご意見について承りました。</p>	意見箱	意見	P.87
22	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	<p>米代川の堤防強化と築堤を早期に望むものですが今般の豪雨に対する施策としては計画が示すとおり流域治水という概念で取り組むのが最善と考えますので計画にあった早期実行に努めていただきたい。</p>	<p>あらゆる関係者と連携し、流域治水の推進に努めます。</p>	意見箱	意見	P.57 P.92 P.140

※種別 「産業祭:イベントでの意見収集結果」、「公聴会:公聴会時に発言された意見」、「ホームページ:アンケートフォームの入力による意見」

※整備計画に関する意見(維持管理等も含む)

パブリックコメントの実施結果(意見の整理)

米代川水系

【地域の方々からの意見一覧表】(参考)

No	分類	意見分類	市町村名	流域内外	上下流	ハザードマップ内外	意見	対応方針	種別	備考	本文対応頁
1	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ外	4~5年くらい前に朴瀬の能代新橋から下流の荷八田側(右岸)について堤防がない。15年に1回は荷八田地区が孤立する土地改良区等で築堤の要望をしたが、5年以内は無理と言っていた。その後時間が経っても計画をつくってもらえていない。どうなっているか聞かせて欲しい。	今回の整備計画では、周辺の河道掘削を計画しています。河道掘削により断面を広くし、洪水を流下させる計画で考えています。	能代市公聴会	参考	P.87 P.88
2	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ外	朴瀬揚水機場では、川の水深が浅く、水が上がらなくなっている。飲み口は土地改良区で掘削するが、川の方は河道掘削計画はあるのか。	朴瀬揚水機場のある米代新橋下流でも河道掘削を実施します。	能代市公聴会	参考	P.87 P.88
3	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	米代川には中州がいくつかあるが、ほとんどの中州を掘削してくれるのか。	河道については、目標流量を考えた時にまだ掘れる箇所があればそこを掘削していくと考えています。	能代市公聴会	参考	P.87 P.88 P.89
4	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	計画を進める段階で、30年間工事をどういう形でやっていくのか。上流からやると下流は水位が上がることにはならないか。一番困っているのは、松長布自治会では、早川水門が閉鎖されることで内水氾濫が起きているため興味がある。	下流からやっていくのがセオリーです。整備計画変更が終われば予算事情にもよりますが、事業を開始していくこととなります。悪土川では、流域治水としてどうしていくのか、秋田県、能代市と検討会を行っています。	能代市公聴会	参考	P.42 P.140
5	治水	流域内の河川整備	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	堤防の越水が想定されるが、越水した場合に対応として、構造的なものでも対応する予定はあるのか。	堤防を越える恐れがある場所については、堤防の裏側にブロックを張っています。内陸線の左岸側上流などでも実施しています。また、質的整備として、堤防が壊れやすい土質の場合には川の方に護岸を張ったり、矢板を打ったりして水を通さないように対策をしています。	北秋田市公聴会	参考	P.77 P.85
6	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	蟹沢地区だが、洪水が起きる度、田んぼが5割近くが水没する左岸の方でH10頃だと思いが堤防を計画したが途中でやめてしまっている。500mか800mかと思うが、引き続きやるのかと思ったら止めてしまった。今後計画があるのか。	蟹沢地区左岸については、今回の整備計画では、治水対策を行う箇所として位置付けています。市道、家屋を含めて、浸水しないような対策を今後検討します。	北秋田市公聴会	参考	P.86 P.140
7	治水	流域内の河川整備	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	伊勢町について、水門があると内水が行き場がなく、家屋道路などの浸水がある。洪水時はポンプで水をくんで米代川に流している状況であるが、今後も継続していくのか。できるなら対策をお願いしたい。	鷹巣第二排水樋管の意見と思われませんが、市の要請を受け、国や県でもポンプ排水を行うなど、状況に応じた対応を行っているところであり、今後も継続していきたいと考えています。	北秋田市公聴会	参考	P.90 P.140
8	治水	流域治水	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ外	伊勢堂岱ICのある集落(坊沢地区)では、堤防が無いので、長年堤防をつくって欲しいと要望をしてきたところ。流域治水として、異常気象によって水が溢れることを前提とする必要があり、今回の変更計画では、溢れる場所を増やさなければならないと認識した。まさに私たちの地域は、水が溢れる場所、水をためる前提の場所かと思うが、貯留あるいは遊水機能の保全に努めたいとの説明であったが、具体的に何かを行うのか説明をお願いしたい。簡易水道の取水源がある。断水期間が1週間に及ぶこともある。	下流のため、水が貯められる場所は貯めるというのが流域治水の考え方になります。一方で秋田県は米作りを生業にしている人が多いのは承知しており、その生業も守りたいという考えから、坊沢地区については「土地利用を踏まえた治水対策」を位置付けました。具体的な高さは明示できませんが、ある程度の高さの盛土により、今よりは浸水しないよう被害軽減を図ります。	北秋田市公聴会	参考	P.86 P.140
9	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	北秋田市に予定している防災拠点の具体的な目的や計画概要を説明願う。	ヘリポート、復旧資材として土砂やブロック、水防団員の活動拠点のスペース、水防団の待機指揮命令施設等を計画していますが、具体的には調整中です。現在用地買収に着手しており、その後造成となります。今後のスケジュールも含めて現在検討を進めています。	北秋田市公聴会	参考	P.71 P.91

※種別「産業祭:イベントでの意見収集結果」、「公聴会:公聴会時に発言された意見」、「ホームページ:アンケートフォームの入力による意見」

※整備計画に関する質問

パブリックコメントの実施結果(意見の整理)

米代川水系

【地域の方々からの意見一覧表】(その他1/2)

No	分類	意見分類	市町村名	流域内外	上下流	ハザードマップ内外	意見	対応方針	種別	備考
1	治水	流域治水	不明	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	ダイレクトに行動できるシステムづくりを(年齢に応じて)	洪水時の避難についてと思われませんが、避難については流域治水の一貫としてマイタイムラインの普及を図り、個人の状況を踏まえた避難行動ができるよう努めていきたいと考えています。	能代市産業祭	その他
2	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	雨が降ると不安になります。	米代川における河道掘削などの治水対策を推進するとともに、内水対策については、国・県・市を始めとする関係者により流域治水として被害軽減を図ります。	能代市産業祭	その他
3	治水	河川整備の実施	秋田市	流域外	流域外	ハザードマップ外	水害が身近と感じる年となり、自宅前が水路なので危険！！	米代川における河道掘削などの治水対策を推進するとともに、内水対策については、国・県・市を始めとする関係者により流域治水として被害軽減を図ります。	能代市産業祭	その他
4	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	悪戸川がいつもあふれて怖い。	米代川における河道掘削などの治水対策を推進するとともに、内水対策については、国・県・市を始めとする関係者により流域治水として被害軽減を図ります。	能代市産業祭	その他
5	その他	その他	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	まだ能代に来て日が短いのでこれから勉強していきます。	ご意見承りました。	能代市産業祭	その他
6	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ外	米代川のハンランがこわい 後ろに山を抱えているので、土砂崩れが怖いです。避難場所(鶴形小)周囲には堰の水が溢れる事もあり避難時の転倒、骨折など受傷による二次災害も怖いです。	米代川における河道掘削などの治水対策を推進するとともに、国・県・市を始めとする関係者により流域治水として被害軽減を図ります。	能代市産業祭	その他
7	治水	河川整備の実施	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ域	水害は人災と思う。今回、能代地区に180mmの豪雨だったのに7月15日午後4時30分、早川水門を閉鎖したことにある。私はこれから地球温暖化の影響により、能代地区に100mm以上の降雨があった時早川水門は閉鎖するべきではない。7月15日午後11時、悪戸川の堤防を越えた時点で、早川水門を開門して、悪戸川下流域の水害を防ぎべきであったと思う。私は米代川と悪戸川の水位見ながら、早川水門を開閉できる構造にして欲しい。そうすると、揚水ポンプの増設は不要である。	悪土川の内水対策については、流域治水として国・県・市により検討会で検討します。	ホームページ	その他
8	維持管理	施設管理	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ外	元々住んでいた富根地区について、S47水害を受けコンクリートで整備された箇所があるが、壊れた箇所がある。工事について検討されているのか。	定期的な巡回点検により、施設の状況を確認し、施設の補修等を判断します。	能代市公聴会	その他
9	治水	河川整備の実施	大館市	流域内	上流域(大館市域)	ハザードマップ外	根下戸米代川河川公園について、昨年も公園に水が上がっている。公園側に水が流れてくるような状況であるため、河道掘削により反対側(左岸:四羽出(しのはい)地区側)へ流れるようにしてもらえれば水が上がらないのではないか。	根下戸公園箇所について、河道掘削の計画はありません。当箇所は砂州が移動する地形で、滞筋がよく変わる特殊な場所であるため、継続して状況の変化をモニタリングします。	大館市公聴会	その他
10	治水	流域治水	大館市	流域内	上流域(大館市域)	ハザードマップ域	圃場のための水路の整備、管理として洪水になると止水のコントロールしている。川の水を逃がしながらコントロールしていくことについて、もう少し地域に分かるように、連携できる知恵というか連携できる方法を教えて欲しい。季節によって管理の仕方がどうあるべきか、洪水が来たときにどうするべきかを教えて欲しい。	洪水時における水田貯留の運用の仕方については、流域治水協議会で関係者とも共有します。	大館市公聴会	その他
11	治水	河川整備の実施	大館市	流域内	上流域(大館市域)	ハザードマップ域	吉富士地区では、堤外地の田んぼが欠けてあと1m位の箇所がある。河道掘削のエリアとしてこれから掘削していくのか、ご相談させていきたい。	状況は把握させていただきました。 当該地区は今回の計画の河道掘削予定箇所ではないため、今のところ掘削する予定はありません。	大館市公聴会	その他
12	治水	河川整備の実施	大館市	流域内	上流域(大館市域)	ハザードマップ域	大館市二井田地区旧米代川と犀川の合流地区であり、中でも第2分田小坪川原地区はこの2つの川に挟まれた地域にある為、水害発生を心配している。河道掘削も下流だけでなく上流も検討して欲しい。	状況は把握させていただきました。 今回、下流を掘削することで水害に対して効果が出ると考えています。	大館市公聴会	その他

※種別「産業祭:イベントでの意見収集結果」、「公聴会:公聴会時に発言された意見」、「ホームページ:アンケートフォームの入力による意見」
※その他意見

パブリックコメントの実施結果(意見の整理)

米代川水系

【地域の方々からの意見一覧表】(その他2/2)

No	分類	意見分類	市町村名	流域内外	上下流	ハザードマップ内外	意見	対応方針	種別	備考
13	その他	その他	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	気候変動の考えを聞くと、いま堤防が整備されているところも溢れる可能性があると感じたが、ハザードマップというのは堤防が決壊したと想定しているのか。	ハザードマップは想定される最大の規模(1/1000)の洪水で堤防決壊が生じた事想定した浸水範囲を示しています。	北秋田市公聴会	その他
14	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	地域全体を考えた水田貯留を考えているのだろうかと思うが、うちの地域は毎年のように床下浸水ギリギリの所まで来ているので、なんとかならないのかと思っている。河道掘削のエリアを広げてもらえれば洪水のエリアが和らぐと思っているが、たぶん遊水地のような計画にあてられているのだろうかと思うが、農業の部分でも大きな被害を受けた。	ご指摘の地区については内水による浸水と思われるが、国交省でも内水排除は行っています。また、下流で河道掘削が進んでいけばその分水位も上がりづらくなるため、排水しやすくなり水門を閉める時間も短くなることにより状況は改善されると考えています。	北秋田市公聴会	その他
15	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	東小学校の右岸の上流下流は堤防の天端をアスファルトで舗装した際に、天端が上がると聞いていたが、どの程度上がったのか知りたい	50cmくらいと認識しています。	北秋田市公聴会	その他
16	治水	河川整備の実施	北秋田市	流域内	中流域(北秋田市域)	ハザードマップ域	摩当地区の水門の操作はどのように行っているのか。	操作員が観測所の水位を見ながら出動し、水門の内側と外側の水位状況を見ながら対応しています。	北秋田市公聴会	その他
17	維持管理	施設管理	能代市	流域内	下流域(能代市域)	ハザードマップ外	案内状を頂戴し、出席しましたが、内容が専門的であり、用語なども初めて目にするものが多く、説明のスピードも早くよく理解できませんでした。出席者にも印刷したレジメを配布し後日チェック出来るように頂けたら良かったと思いました。私の住んでいる向能代第3自治会は、米代川右岸の向能代2号線道路住宅が並んでおり、急傾斜地と土砂災害特別警戒地域に住んでおります。私の住んでいる向能代第三自治会は、米代川右岸の向能代2号線に住宅が並んでおり急傾斜地で土砂災害特別警戒区域に指定されております。以前は、床屋等ありましたが、向能代支所や郵便局などの移転で住宅地となり60坪あった向能代支所跡地は隣隣住民に昭和57年に30坪づつ払い下げされており、鉄筋コンクリート造りの地下室部分が川側に残存し、コンクリート部分には割れ目が入って放置されて危険な状態となっております。昭和54年6月26日、藤里町藤駒岳で288ミリの降雨量で素波里ダムから分当たり260トンが放水され、22時過ぎに向能代上野の「染谷の坂」中間地で米代川から高台にある住宅地が高さ2.9Mのコンクリート護岸を超えての波浪でガケが高さ1M幅300Mに渡って削り取られ崩れ落ちたとのことです。自治会では能代市や市議会に陳情書を提出し、被害者住宅の法面はコンクリート工法が行われましたが、残された上流側は鋼製円形型枠工法での災害復旧工事がなされました。国土交通省管轄の残された鋼製円形工法での法面は、秋田県管轄地の3倍残っており、年に2度人手での草刈りを行うだけであり、法面の鋼製円形型枠上部と個人の住宅地との間部分の崩れも続いており、能代市への要望を続けておりますが、令和2年には国土交通省より回答あり、法面の鋼製円形型枠の劣化や連結などは良いし法面も安定しており問題ないとの事で安心しております。しかし、昭和56年の施工実績から、本年度で42年を経過しており、能代市や秋田県市内そして全国各地での記録的な自然災害ニュースを見聞きして住民にとっては「危険であるのは十分知っているはずなのに役所は対策を立ててくれないのでは不安でたまらない」と、ここに住む住民の切実な思いです。	当該箇所については、毎年2回(春・秋)の除草を行い、法面の状況を確認し、劣化もなく法面は安定した状態であることを確認しています。今後も除草や巡回を行って、適切な維持管理を行ってまいります。	意見箱	その他

※種別 「産業祭:イベントでの意見収集結果」、「公聴会:公聴会時に発言された意見」、「ホームページ:アンケートフォームの入力による意見」
 ※その他意見

整備計画(変更素案)に対する意見への回答及び(変更原案)における考え方

【分類:環境 意見分類:環境に関する意見】

No.6:近年の激甚化する災害は日本全国どこでも起こり得る事象であり、それに備えるため**既往の整備計画流量を増やすことは民生安定の観点から非常に重要な事であると思います。**

往々にして治水事業は災害が起きないと対策を実施しない後追い事業と言われておりますが、**積極的な治水対策は流域住民の安心・安全には不可欠なもの**と認識しており、**計画の実現に向けて注力していただきたいと望んでいます。**

そのための具体策として河道掘削を計画していますが、**米代川の自然環境は後世に残すべき素晴らしい環境であるため、生物の多様性に配慮し、尺鮎が棲みサクラマスが遡上する豊かな自然環境の維持・保身に務めていただきたい**と思います。

No.6:米代川流域における住民の安心・安全のため、**今後も治水事業を推進するとともに、工事における環境への配慮や多自然かわづくり等を進め、治水と環境との両立について注力して行きたいと考えています。**

<整備計画(変更原案)における考え方>

5. 河川整備の目標に関する事項

5.2.1 洪水、高潮対策に関する整備

(3)河道掘削(87頁)

土地利用や地域特性を踏まえた治水対策が完了しても河積^{※1}が不足している箇所においては、河道の目標とする洪水と同規模の洪水が発生した場合には洪水を安全に流下できず、氾濫の危険があります。このため、河積を増大するための河道掘削を実施します。

河道掘削の実施にあたっては、**アユの産卵場の保全のため、水域環境の保全を図るとともに**、掘削により消失する河川公園等の河川利用箇所については、関係市町村と調整を行い代替施設等の整備を図ります。また、草地化工法^{※2}等によりヨシ等の湿生草地进行、再樹林化や外来植物侵入を抑制する対策を講じるとともに、掘削区間にある湧水(伏流)を伴うワンド・たまりは、動植物にとって重要な生息・生育・繁殖環境であるため、原則、保全した上で、**掘削する場合は現状よりも自然環境の向上を目指し新たに創出も行い、生物の生息場の拡充を図ります。**このように、河川環境の保全と創出を図るとともに、土砂の再堆積抑制を考慮した掘削形状等に十分配慮します。また、河川工事による生物の生息・生育・繁殖環境への影響を緩和するため、縦断的・横断的な段階的河川工事の実施に努めます。さらに、濁水の発生を極力抑えつつ、水質等のモニタリング調査を実施します。

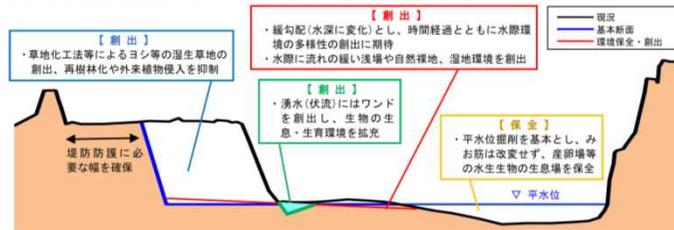


図 5-4 米代川における河道掘削横断イメージ^{※1}

5. 河川整備の目標に関する事項

5.2.3 河川環境の整備と保全に関する事項

(1)動植物の生息・生育・繁殖環境の保全(97頁)

② 自然環境に配慮した河川事業の実施(多自然川づくり)

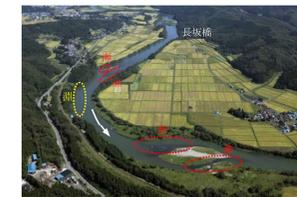
米代川には、魚類の生息環境となる瀬や淵、アユの産卵場、様々な動植物の生息・生育・繁殖環境などがあり、豊かな自然環境を有しており、今後ともこの豊かな自然環境を維持していくために、定期的に動植物の生息・生育・繁殖環境の状況把握を行います。

河道掘削等の河川工事の実施にあたっては、治水効果を確保しつつ、良好な河川環境の保全・創出を図ります。また、工事箇所の環境配慮調査を実施するほか、その時点での河川環境情報図により環境配慮レポートを整理し、河川環境を十分把握するとともに、学識経験者の意見や地域住民の意向を聴きながら、計画から施工及び維持管理において動植物の生息・生育・繁殖環境を保全・創出する多自然川づくりを推進します。

米代川は、安定かつ大規模なアユの産卵場が存在するため、災害対策など緊急性を伴う工事であっても、可能な限り周辺の瀬・淵と併せ動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・創出を図ります。



アユの産卵状況



瀬と淵のイメージ

【アユの産卵場保全のため平水位以下の河道掘削を行わない。】

【瀬・淵の保全を図る。】

黒字: 現行の河川整備計画に記載がある箇所

赤字: 変更素案にて追記・修正した箇所

青字: パブリックコメントを踏まえて追記・修正した箇所

整備計画(変更素案)に対する意見への回答及び(変更原案)における考え方

【分類:治水 意見分類:流域内の河川整備に関する意見】

No.8:○近年の気候変動に対応した整備計画目標の見直しは不可欠であるが、かなりのロングスパンであるため、その間の最低限の対応として、**河積阻害している樹木伐採を行い河川断面を確保することが大事**。特に県管理や市町村管理支川での必要性が高いと思われる。

○ニツ井地区の特殊堤区間についての整備目標や方針を示した方がよいと思う。

○流域全体でみれば、本線、支川、ダム、排水機場・水閘門、消防や水防団、避難情報提供など、多数の管理者や指示・命令権者がいる。**洪水予測、水閘門操作、避難指示・命令等、これらの一連についてAI等を活用した総合的なシステムの構築と必要機器の全体配備が必要ではないか。精度の高いスピーディな情報の同時共有化、ダム放流や水閘門操作のタイミングの判断、避難指示・命令等の情報提供の適切なタイミングの判断など有効的な活用が図られるとともに、内水被害の発生原因に関連した施設操作の責任を追及されることも無くなるのではないか。**

○米代川に限った話ではないが、河道掘削を行う箇所については、**同時に樹木化防止対策をやらないと同じ事の繰り返しになってしまうと思う。**

No.8:河道内樹木による流下阻害については、課題と考えており、**従来の計画的伐採や公募伐採のほか、河道掘削後に草地地化を図るなど、引き続き対策を講じていきたいと考えています。また、洪水予報や河川管理においてもシステムの高度化を検討するとともに、DXの活用など、効率的且つ効果的な運用を引き続き検討していきたいと考えています。**

<整備計画(変更原案)における考え方>

5. 河川整備の目標に関する事項 5.2.1 洪水、高潮対策に関する整備 (3)河道掘削(87頁)

河道掘削の実施にあたっては、アユの産卵場の保全のため、水域環境の保全を図るとともに、掘削により消失する河川公園等の河川利用箇所については、関係市町村と調整を行い代替施設等の整備を図ります。また、草地化工法[※]等によりヨシ等の湿生草地进行創出し、再樹林化や外来植物侵入を抑制する対策を講じるとともに、掘削区間にある湧水(伏流)を伴うワンド・たまりは、動植物にとって重要な生息・生育・繁殖環境であるため、原則、保全した上で、掘削する場合は現状よりも自然環境の向上を目指し新たに創出も行い、生物の生息場の拡充を図ります。このように、河川環境の保全と創出を図るとともに、土砂の再堆積抑制を考慮した掘削形状等に十分配慮します。また、河川工事による生物の生息・生育・繁殖環境への影響を緩和するため、縦断的・横断的な段階的河川工事の実施に努めます。さらに、濁水の発生を極力抑えつつ、水質等のモニタリング調査を実施します。

5. 河川整備の目標に関する事項 5.3.2 河川管理施設の維持管理 (4)その他施設の維持管理(122頁)

② 樹木管理

河道内の樹木は、生態系を育む重要な空間である一方、洪水時の流水の阻害等、悪影響を及ぼす場合もあります。このため、樹木の成長や繁茂の状況を定期的に調査・監視するとともに、必要に応じて樹木の伐採を行い、河道内樹木の管理に努めます。

5. 河川整備の目標に関する事項 5.3.4 管理の高度化(129頁)

5.3.4 管理の高度化

迅速かつ効果的な洪水対応や危機管理対策を講じるため、光ファイバーを活用した樋門等の集中管理・遠隔操作化を図り、危機管理体制の強化を図ります。

また、災害時の現場状況をリアルタイムに収集するため、情報カメラや水位・雨量などの観測機器を活用するとともに、出水時や地震などの異常時の巡視については、スマートフォンを用いた河川巡視点検・報告システムを活用し、効率的に現地の情報を把握します。

相対的に氾濫が生じやすい箇所では、危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラ等も活用した、円滑な水防活動や避難誘導等を支援するための情報提供を行います。



図 5-30 河川管理施設の高度化イメージ

黒字: 現行の河川整備計画に記載がある箇所

赤字: 変更素案にて追記・修正した箇所

青字: パブリックコメントを踏まえて追記・修正した箇所

整備計画(変更素案)に対する主な意見への回答及び(変更原案)における考え方

【パブリックコメントを踏まえた変更素案の更新】

No.9: 土地利用や地域特性を踏まえた治水対策(P86)について

特に、意見はありませんが、**図5-2**や付図の施工箇所位置図の地区名と外面地区や蟹沢地区の表記が違いますので統一してはいかがでしょうか？

No.9: ご指摘の図については訂正させていただきます。

<整備計画(変更原案)の更新>

5. 河川整備の実施に関する事項

5.2.1 洪水、高潮対策に関する整備

(2) 土地利用や地域特性を踏まえた治水対策(86頁)

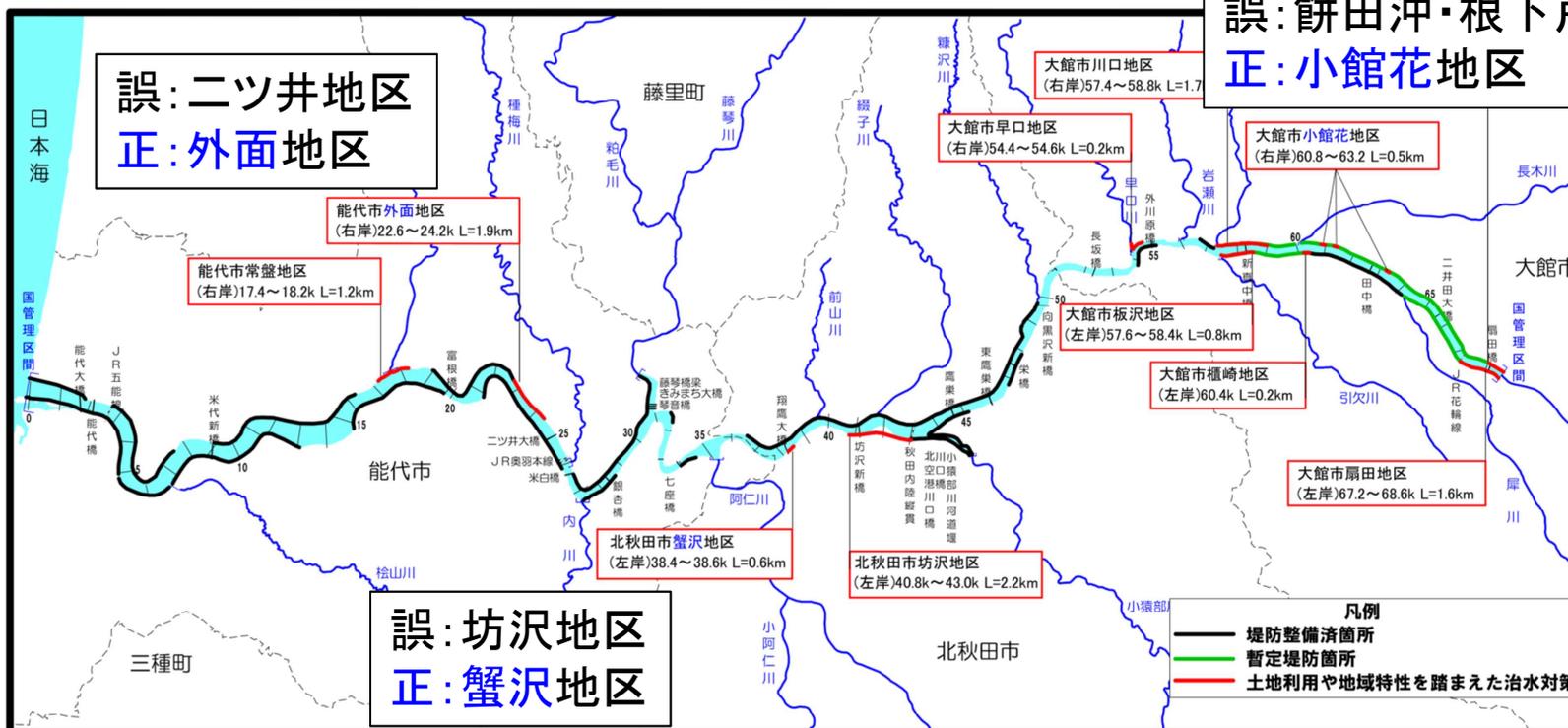


図 5-2 土地利用や地域特性を踏まえた治水対策の実施箇所*

黒字: 現行の河川整備計画に記載がある箇所

赤字: 変更素案にて追記・修正した箇所

青字: パブリックコメントを踏まえて追記・修正した箇所

整備計画(変更素案)に対する主な意見への回答及び(変更原案)における考え方

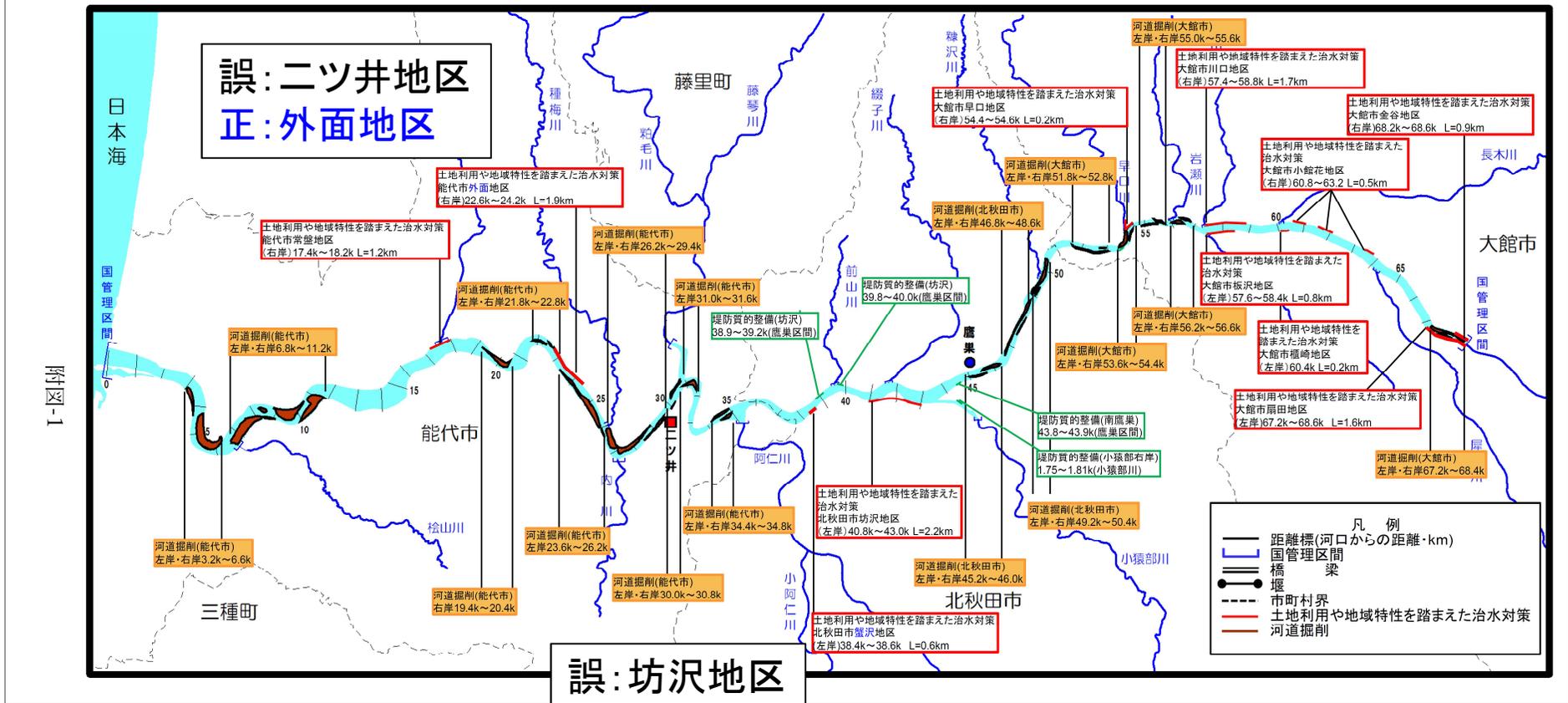
【パブリックコメントを踏まえた変更素案の更新】

No.9: 土地利用や地域特性を踏まえた治水対策(P86)について
 特に、意見はありませんが、**図5-2や付図の施工箇所位置図の地区名と外面地区や蟹沢地区の表記が違いますので統一してはいかがでしょうか？**

No.9: ご指摘の図については**訂正させていただきます。**

<整備計画(変更原案)の更新>

附図
 米代川水系河川整備計画(国管理区間) 施行箇所位置図(附図-1頁)



黒字: 現行の河川整備計画に記載がある箇所
 赤字: 変更素案にて追記・修正した箇所
 青字: パブリックコメントを踏まえて追記・修正した箇所

整備計画(変更素案)に対する意見への回答及び(変更原案)における考え方

【分類:治水 意見分類:河川整備の実施に関する意見 1/2】

No.10: 気候変動を踏まえた整備計画は大変良いと思います。

- ・「河道掘削」については、単一的な河川断面とならないよう十分に景観等に配慮して欲しい。
- ・将来的に気候変動等で更なる流量増加も考えられ、本計画の「河道掘削」や「土地利用を踏まえた治水対策」だけでは不安がありますので、「遊水地」や**県ダム**を含めた「再開発ダム」も考えたらどうでしょうか。特に「遊水地」については、河川の背後地が開発されると整備が難しくなると思うので、できれば本整備計画に「遊水地」を取り込んで欲しいです。

No.10: 河道掘削においては、その場所毎に環境や再堆積に配慮した断面となるよう配慮してきたいと考えています。また、ダムの再開発については流域治水プロジェクトの一貫であり、様々な観点から可否を判断するものと考えています。また、遊水機能については、流域治水に関連する様々な施策を踏まえて保全を図りたいと考えています。

<整備計画(変更原案)における考え方>

5. 河川整備の目標に関する事項

5.2.1 洪水、高潮対策に関する整備

(3)河道掘削(87頁)

土地利用や地域特性を踏まえた治水対策が完了しても河積^{※1}が不足している箇所においては、河道の目標とする洪水と同規模の洪水が発生した場合には洪水を安全に流下できず、氾濫の危険があります。このため、河積を増大するための河道掘削を実施します。

河道掘削の実施にあたっては、アユの産卵場の保全のため、水域環境の保全を図るとともに、掘削により消失する河川公園等の河川利用箇所については、関係市町村と調整を行い代替施設等の整備を図ります。また、草化工法^{※2}等によりヨシ等の湿生草を創出し、再樹林化や外来植物侵入を抑制する対策を講じるとともに、掘削区間にある湧水(伏流)を伴うワンド・たまりは、動植物にとって重要な生息・生育・繁殖環境であるため、原則、保全した上で、掘削する場合は現状よりも自然環境の向上を目指し新たに創出も行い、生物の生息場の拡充を図ります。このように、河川環境の保全と創出を図るとともに、土砂の再堆積抑制を考慮した掘削形状等に十分配慮します。また、河川工事による生物の生息・生育・繁殖環境への影響を緩和するため、縦断的・横断的な段階的河川工事の実施に努めます。さらに、濁水の発生を極力抑えつつ、水質等のモニタリング調査を実施します。

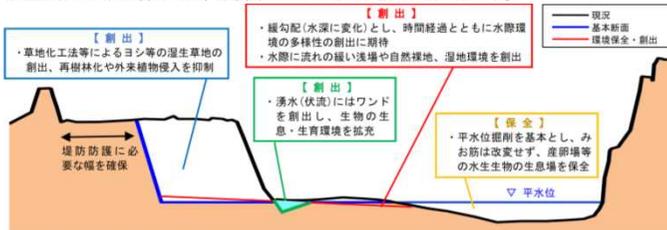


図 5-4 米代川における河道掘削横断イメージ^{※1}

5. 河川整備の目標に関する事項

5.3.6 危機管理体制の強化

(2)洪水氾濫に備えた社会全体での対応(140頁)



流域治水イメージ図

黒字: 現行の河川整備計画に記載がある箇所

赤字: 変更素案にて追記・修正した箇所

青字: パブリックコメントを踏まえて追記・修正した箇所

整備計画(変更素案)に対する意見への回答及び(変更原案)における考え方

【分類:治水 意見分類:河川整備の実施に関する意見 2 / 2】

No.12: 毎年大雨が降るかもしれない中で、悪土川では対策が間に合わない可能性が大である。ポンプ排水の能力拡大など早めに対策できるものは行うなど、速やかな内水対策をお願いしたい。

No.13: 毎年国交省等と合同巡視により様々な情報を教えていただきながら、日々の水防団活動にあたっている。悪土川や天内地区では内水対策として、消防団ポンプも使っていたが、消防ポンプでは排水量が小さいので大きなポンプにはかなわない。住民の皆さんの声を聞くと、今ついているもののポンプの増強をお考えを持ってもらいたい。流域治水として国・県・市で協力して進んでいくと聞いた。早めにこの計画を策定していただき、予算を付けていただきたい。国が進まないと、県市の計画は進めづらいくところもある。何か地域に対して言葉をかけてもらえないか。

No.12・No.13: 内水対策については長期的な対策のほか、短期的に効果が出る対策を行う必要があると理解しています。悪土川の内水対策については、流域治水として国・県・市により検討会で検討します。

<整備計画(変更原案)における考え方>

4. 河川整備の目標に関する事項

4. 1. 2 整備の目標

(4)内水対策の実施(77頁)

(4) 内水被害への対応

関係市町村との情報共有等による内水被害への迅速な対応や情報収集に努めるとともに、排水ピット及び排水ポンプ車等の既存施設の適正な運用、効率化を徹底し、被害の軽減に努めます。また、内水被害の頻発する箇所については、被害状況を踏まえ、関係機関と連携、調整し、必要な対策を実施します。

3. 米代川の現状と課題

3. 1. 7 流域治水の推進

(4)内水対策の実施(90頁)

(4) 内水対策の実施

内水対策の計画の作成は支川管理者が主体となって実施しますが、実施にあたっては、堤内地*の被害状況を十分勘案し、協力や助言を行い、関係機関と連携して必要に応じて排水施設の運用や排水ポンプ車の活用を行います。

さらに、内水氾濫の被害が著しい場合には、排水機場の整備等必要に応じて検討を行っていきます。

表 5-2 内水対策設備(排水機場)整備済み箇所

支川位置	支川名
左支川	悪土川
右支川	比井野川

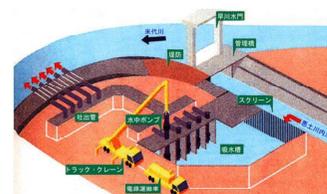


図 5-9 内水対策(排水機場)イメージ



排水ポンプ車稼働状況

黒字: 現行の河川整備計画に記載がある箇所

赤字: 変更素案にて追記・修正した箇所

青字: パブリックコメントを踏まえて追記・修正した箇所